

記入例 別居中の妻から夫に対して婚姻費用の分担についての調停を求める場合

申立書を提出する裁判所
作成年月日

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

申立書の写しは相手方に送付されますので、あらかじめご了承ください。

裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。ご不明な点があれば、申立書を提出される裁判所にお問い合わせください。

受付印

家事 調停 申立書 事件名 婚姻費用分担請求 婚姻費用増額請求 婚姻費用減額請求

審判

(この欄に申立て1件あたり収入印紙1,200円分を貼ってください。)

収入印紙 円

予納郵便切手 円

印紙 (貼った印紙に押印しないでください。)

家庭裁判所 申立人 (又は法定代理人など) の記名押印

御中

令和 〇〇年 〇月 〇日

甲野 花子

添付書類 (審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。)

戸籍謄本(全部事項証明書) (内縁関係に関する申立ての場合は不要)

申立人の収入に関する資料 (源泉徴収票、給与明細、確定申告書、非課税証明書等の各写し)

準口頭

申立人	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 (〇 方)	フリガナ名	カノハナコ	大正 〇〇年 〇月 〇日生 (〇〇 歳)
相手方	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 (〇 方)	フリガナ名	カノタロウ	大正 〇〇年 〇月 〇日生 (〇〇 歳)
対象となる子	住所	<input checked="" type="checkbox"/> 申立人と同居 / <input type="checkbox"/> 相手方と同居 <input type="checkbox"/> その他 ()	平成 〇〇年 〇月 〇日生 (〇 歳)	フリガナ名	カノサクラ	
	住所	<input checked="" type="checkbox"/> 申立人と同居 / <input type="checkbox"/> 相手方と同居 <input type="checkbox"/> その他 ()	平成 〇〇年 〇月 〇日生 (〇 歳)	フリガナ名	カノハル	
	住所	<input type="checkbox"/> 申立人と同居 / <input type="checkbox"/> 相手方と同居 <input type="checkbox"/> その他 ()	平成 〇〇年 〇月 〇日生 (〇 歳)	フリガナ名		

(注) 太枠の中だけ記入してください。対象となる子は、申立人又は相手方が監護養育している子を記入してください。 □の部分は、該当するものにチェックしてください。

相手方に支払ってほしい金額を記入してください。金額がはっきりしないときは「□相当額」を選択してください。

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

※ 申立ての趣旨は、当てはまる番号を○で囲んでください。
□の部分は、該当するものにチェックしてください。

同居と別居を繰り返しているときは、一番最後の別居の日を記入してください。

夫婦が初めて同居をした日を記入してください。

申立ての趣旨

(相手方 / 申立人) は、(申立人 / 相手方) に対し、婚姻期間中の生活費として、次のとおり支払うとの (調停 / 審判) を求めます。

※ ① 毎月 (金 〇 〇 〇 〇 円 / 相当額) を支払う。

2 毎月金 _____ 円に増額して支払う。

3 毎月金 _____ 円に減額して支払う。

申立ての理由

同居・別居の時期

同居を始めた日 昭和 〇〇年 〇月 〇日 別居をした日 平成 〇〇年 〇月 〇日

令和 〇〇年 〇月 〇日 令和 〇〇年 〇月 〇日

婚姻費用の取決めについて

1 当事者間の婚姻期間中の生活費に関する取決めの有無
 あり (取り決めた年月日: 平成・令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日) なし

2 1で「あり」の場合

(1) 取決めの種類
 口頭 念書 公正証書 (_____ 家庭裁判所 _____ (□支部 / □出張所))
 調停 審判 和解 → (平成・令和 _____ 年 (家 _____) 第 _____ 号)

(2) 取決めの内容
(□相手方 / □申立人) は、(□申立人 / □相手方) に対し、平成・令和 _____ 年 _____ 月から _____ まで、毎月 _____ 円を支払う。

婚姻費用の支払状況

現在、毎月 _____ 円が支払われている (支払っている)。
 平成・令和 _____ 年 _____ 月ころまで、毎月 _____ 円が支払われていた (支払っていた) が、その後、(減額された (減額した) 。 / 支払がない (支払っていない))。
 支払はあるが、一定しない。
 これまで支払はない。

婚姻費用の分担の増額又は減額を必要とする事情 (増額・減額の場合のみ記載してください。)

申立人の収入が減少した。 相手方の収入が増加した。
 申立人が仕事を失った。
 申立人自身・子にかかる費用 (□学費 □医療費 □その他) が増加した。
 その他 (_____)